様式３（2020.06改）

作成日　令和　2 年　11 月　26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371301165
事業所名	グループホーム　集い

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、回覧板を通じた付き合いがある。災害時にはホームが避難場所として開放したり備蓄を提供できる体制を整えている。 近隣住民とは散歩時に挨拶を交わし、地域住民の一員として周知されている。コロナ禍以前は学区の催しの参加や、ホーム行事に住民を招待し地域交流を深めていた。地域向け広報ボードに施設行事の案内をしたり、住民からの入居相談も随時受け入れている.	○
重点項目②		評価
	推進会議は年6回開催し、自治代表、包括職員、利用者、家族、他事業所代表の参加があり、意見交換の場として活用している。 行事等の写真を用いて、施設の運営状況を詳細に伝えている。身体拘束や虐待等の事案を挙げ問題点を共有、厳しい意見を頂き支援改善に努めた。 コロナ対策として、3月以降の会議は書面にて実施し、参加者には議事録をFAXや手渡して、運営状況を伝えている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区の介護福祉課には、更新手続き等必要時に窓口に出向く機会があり、入居空き状況を伝える等の協力関係を築いている。 FAXや郵送で区や包括主催の研修の情報が届き、必要に応じて参加している(コロナ禍で自粛中)。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	「集い便り」を発行、個人向けのメッセージを添えて日常の様子を詳細に伝えている。 コロナ対策で、予約制の面会体制やビデオ通話を取り入れ、世情に応じて関係性が希薄にならない様努めている。 何かあれば電話で報告し、家族の意見や要望は職員会議で検討したりケアプランに反映して、サービス向上に取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										